

防災講座 受講者が10,000人に到達！ 愛知県立港特別支援学校で防災講座を行いました

令和元年から防災教育支援として取り組んできた防災講座を受講した児童・生徒・学生が、延べ10,000人に到達しました。150校目での到達です。

令和6年10月15日（火）、愛知県立港特別支援学校で中学部7名・高等部12名に防災講座を行いました。学校は名古屋港や堀川に近く、浸水リスクの高い地域です。

講座では、名古屋市港区に甚大な被害を及ぼした伊勢湾台風や名古屋市でも被害のあった東海（恵南）豪雨など過去の水害や、今年の8月末から9月にかけての台風10号、9月下旬の奥能登豪雨等を学習しました。また、災害が発生した直後の避難所の様子や、避難の選択肢として在宅避難、縁故避難についても確認しました。VRでの浸水体験では、水害の怖さを実感し、早期避難の大切さを学習しました。

講座の最後には、伊勢湾台風A I 語り部に「家の被害はどうだったのですか？」「どのくらい浸水しましたか？」などの質問をして、A I との対話も体験しました。

また、講座後には「私たち車椅子の人はいつ避難したらいいのですか？」との質問もありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は中日新聞に取材頂きました。

